

2018. **12**
No. **195**

調査レポート

県内勤労者の消費・貯蓄動向 ～第60回くらしのアンケートから～

要	約	1
1	家計の状況	3
2	今冬の買物計画	4
3	おけい事、塾・サークル	6
4	貯蓄	7
5	ローン等の利用	9
6	冬季ボーナス	10
7	お歳暮	12
8	冬休み、年末・年始の過ごし方	14

要 約

1. 家計の状況

- 1年前と比べた暮らし向きは、「良くなった」が7.4%、「悪くなった」が14.0%、「変わらない」が78.6%。県内勤労者の暮らし向きは、「変わらない」が大半を占めつつも、昨冬と比べると若干ながら悪化している。これまで回復基調にあった県内景気が一時的な足踏み局面を迎えているなかで、家計も、収入が伸び悩む一方、ガソリン価格の高騰など物価の上昇を受け負担感が増しているものと考えられる。
- 家計上の悩みは、「収入の伸び悩み」が最も多く、以下、「税金等負担増」、「物価上昇」の順。

2. 今冬の買物計画

- この冬購入したい商品は、「婦人服」が最多で、以下、「紳士服」、「子供服」、「スマートフォン」、「ハンドバッグ・靴」の順。
- 昨冬比で購入予定比率が上昇した品目は9品目。このうち、「防災用品」が大幅に上昇。一方、低下した品目は10品目。
- 購入予定先は、「一般小売店」、「インターネット通販」、「スーパー・ショッピングセンター」、「百貨店」、「家電量販店」の順。今回調査で「インターネット通販」が2位に。

3. おけいこ事、塾・サークル

- 参加したいおけいこ事や塾・サークルは、「ゴルフ」が1位で、以下、「料理」、「ダンス・フィットネス等」、「外国語会話」、「書道・絵画」、「ガーデニング」の順。
- 年代別では、20代では、「ゴルフ」、「料理」、30代では、「ゴルフ」、「料理」・「ダンス・フィットネス等」・「外国語会話」(同順位)、40代では、「ダンス・フィットネス等」、「外国語会話」、50代以上では

「ダンス・フィットネス等」、「ゴルフ」が人気。

4. 貯 蓄

- 平均保有額は618万円で、昨冬比35万円増加。
- 現在利用している金融商品は、「銀行預金」、「ゆうちょ銀行貯金」、「生命保険」の順。また、今後増やしたい商品は、「銀行預金」、「投資信託」、「株式」の順。
- 貯蓄する際重視する点は、「元金の保証があり安心」、「利回りが良い」、「預け入れ引き出しが自由」の順。

5. ローン等の利用

- ローン等の利用者は27.9%で、平均借入額は昨冬比2万円減の1,150万円。
- 利用目的は、「土地・住宅の購入」が最も多く、以下、「自動車・家電品の購入」、「教育資金」の順。
- 借入先は、「銀行」が最も多く、以下、「月賦・クレジット会社」、「銀行以外の金融機関」の順。

6. 冬季ボーナス

- 冬季ボーナスの予想は、「減りそう」が「増えそう」を上回り、両比率の差は昨冬と比べて拡大。これまで回復基調にあった県内景気が一時的な足踏み局面を迎えているなかで、勤労者は今冬のボーナス支給について慎重な見方をしている様子が窺われる。
- 手取り予想額は、「21～30万円」が最も多く、以下、「1～20万円」、「31～40万円」、「41～50万円」の順。
- 使いみちは、「貯蓄」が最多で、以下、「買物」、「旅行・レジャー」、「ローン返済」の順。

7. お歳暮

- お歳暮を贈る予定者は、50.9%。贈る件数は「3～5件」が最多。平均件数は3.8件で、昨冬と同水準。
- 1件あたりの単価は、「5,000円程度」が最多。平均単価は4,107円と、昨冬（4,071円）から36円上昇。平均予算総額は15,626円と昨冬（15,489円）に比べて増加。
- 贈りたい商品は「ビール（含むビール券）」が最多で、以下、「ハム」、「お菓子」、「食用油」、「調味料」の順。

8. 冬休み、年末・年始の過ごし方

- 「特に予定なし」を除くと、「日帰り旅行」が最多で、以下、「国内宿泊旅行」、「帰省」、「スポーツ・健康づくり」、「海外旅行」の順。昨冬と比較すると、「国内宿泊旅行」、「海外旅行」が上昇した一方、「日帰り旅行」、「スポーツ・健康づくり」などは低下。
- 国内宿泊旅行の宿泊数をみると、「1泊」が最も多く、以下、「2泊」、「3泊」の順。

● 調査実施要領

調査対象：県内の勤労者 1,088名

調査方法：当行の営業店を通じ対象者に依頼

回答者数：1,040名（回答率95.6%）

調査時期：2018年10月下旬～11月上旬

〈回答者内訳〉

内訳	項目	回答者数	構成比
年代別	20代	249人	23.9%
	30代	254	24.4
	40代	232	22.3
	50代以上	305	29.3
家族	既婚	669	64.3
	未婚	369	35.5
性別	男性	528	50.8
	女性	512	49.2
合計		1,040	100.0

※ 合計には家族未回答者を含む

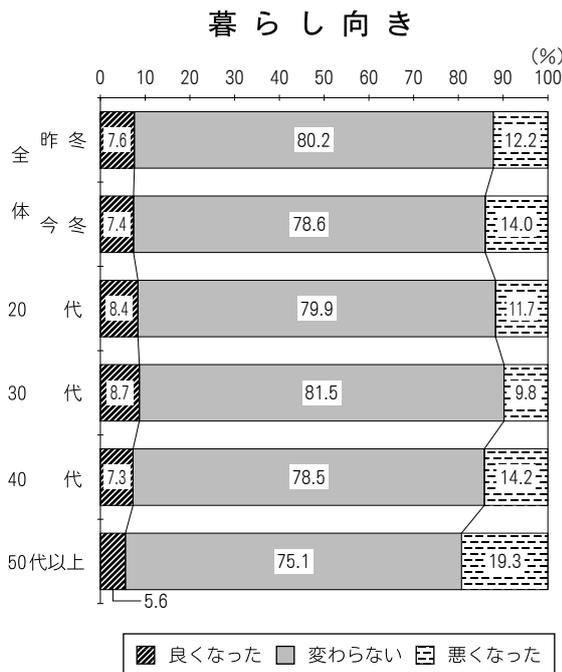
1 家計の状況

暮らし向きは昨冬に比べて若干悪化

1年前と比べた暮らし向きは、「良くなった」が7.4%、「悪くなった」が14.0%、「変わらない」が78.6%となった。「良くなった」から「悪くなった」を引いた差は△6.6であった。

昨冬と比較すると、「良くなった」が0.2ポイント低下した一方、「悪くなった」は1.8ポイント上昇した。その結果、「良くなった」から「悪くなった」を引いた差も2.0ポイント悪化した。

県内勤労者の暮らし向きは、「変わらない」が大半を占めつつも、昨冬と比べると若干ながら悪化している。これまで回復基調にあった県内景気が一時的な足踏み局面を迎えているなかで、家計も、収入が伸び悩む一方、ガソリン価格の高騰など物価の上昇を受け負担感が増しているものと考えられる。



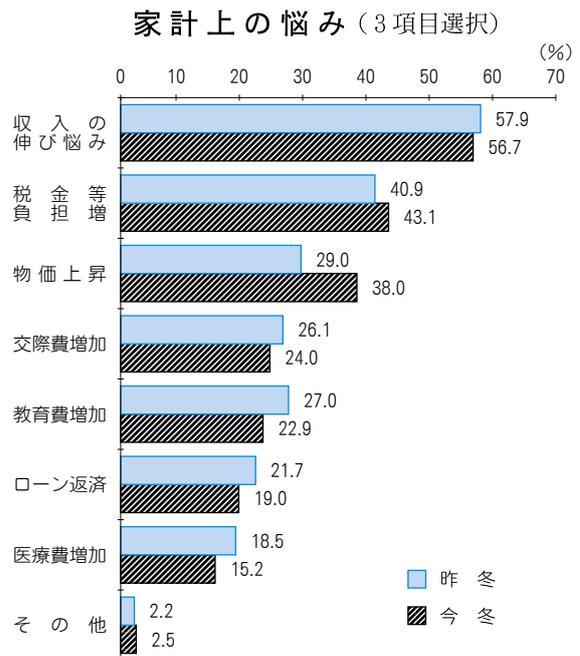
家計上の悩みは「収入の伸び悩み」が最多

家計上の悩み（3項目選択）は、「収入の伸び悩み」が最も多く、以下、「税金等負担増」、「物価上昇」と続いた。

1位の「収入の伸び悩み」は、回答比率が昨冬の57.9%から56.7%へと若干低下したが、引き続き県内勤労者にとって収入の伸び悩みが家計上の最も大きな悩みとなっている。

2位の「税金等負担増」および3位の「物価上昇」は、それぞれ昨冬と比較して上昇した。このうち、「物価上昇」の伸びが目立っており、秋口以降のガソリン価格の大幅な上昇を受けた結果とみられる。

その他の項目をみると、「教育費増加」、「医療費増加」、「ローン返済」、「交際費増加」が低下した一方、「その他」は上昇した。



2 今冬の買物計画

防災用品の購入意欲が高まる

この冬購入したい商品（20品目について複数回答）は、「婦人服」が最多で、以下、「紳士服」、「子供服」、「スマートフォン」、「ハンドバッグ・靴」と続いている。1位から3位まで昨冬と同順位ながら、昨冬4位の「ハンドバッグ・靴」が5位となり、昨冬5位の「スマートフォン」が4位へと入れ替わった。

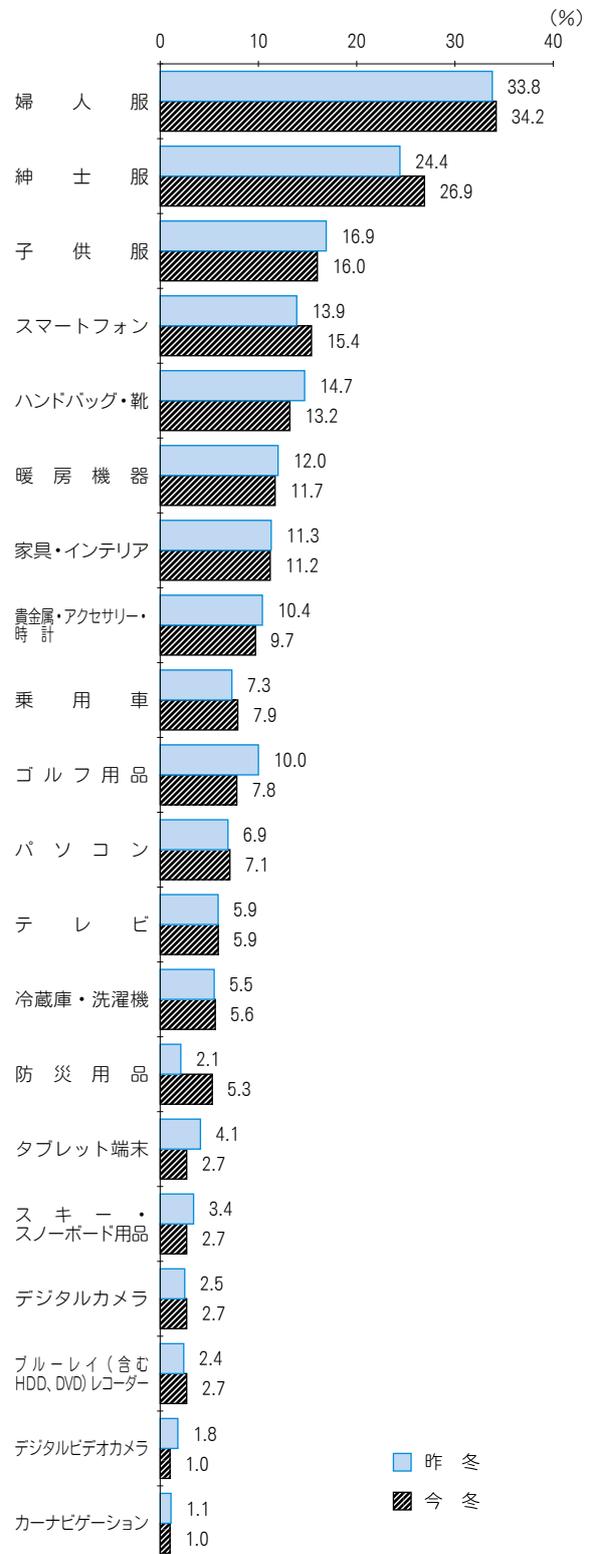
昨冬と比べて購入予定比率が上昇した品目は「防災用品」、「紳士服」、「スマートフォン」、「乗用車」、「婦人服」、「ブルーレイ（含むHDD、DVD）レコーダー」、「パソコン」、「デジタルカメラ」、「冷蔵庫・洗濯機」の9品目（昨冬8品目）となった。このうち、「防災用品」が大幅に上昇するなど、夏場以降に地震や台風などの自然災害が各地で多発したことを受け、山梨県内においても、防災用品に対する購入意欲が高まった。

ゴルフ用品の購入予定比率が低下

購入予定比率が低下した品目は、「ゴルフ用品」、「ハンドバッグ・靴」、「タブレット端末」、「子供服」、「デジタルビデオカメラ」、「貴金属・アクセサリー・時計」、「スキー・スノーボード用品」、「暖房機器」、「家具・インテリア」、「カーナビゲーション」の10品目（昨冬10品目）となった。

このうち、下落幅が最も大きかったのが「ゴルフ用品」で、以下、「ハンドバッグ・靴」、「タブレット端末」の順であった。

主要商品の購入予定状況（複数回答）



購入予定先はインターネットが2位

この冬購入したい商品の購入予定先（複数回答）は、「一般小売店」が最も多く、以下、「インターネット通販」、「スーパー・ショッピングセンター」、「百貨店」、「家電量販店」、「ホームセンター」・「通信販売」（同順位）、「その他」の順となった。

今回調査においては、「インターネット通販」が2位となっており、スマートフォンの普及等を背景に、インターネットが買い物の手段として広く定着してきていることを裏付ける結果と

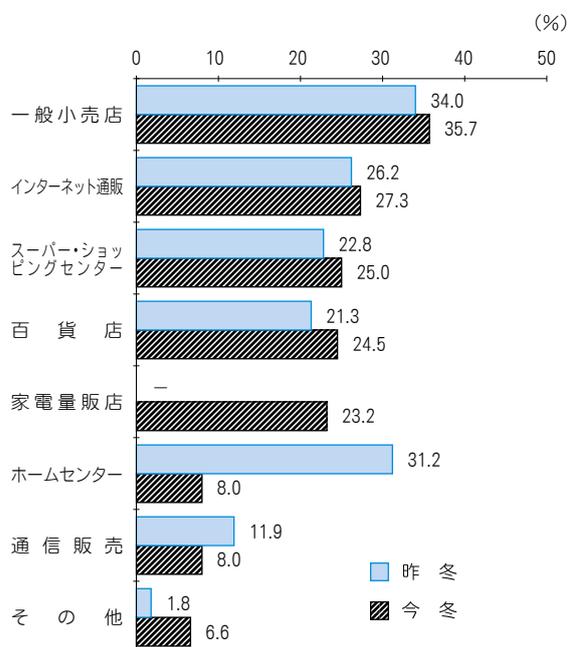
なった。

なお、昨冬と比較すると、「ホームセンター」が大幅に減少しているが、これは、昨冬は本項目の選択肢が「ホームセンター・大型専門店」であったのに対して、今冬は「ホームセンター」と「家電量販店」（新設）に分かれたことによる。このことから昨冬までの「ホームセンター・専門店」の回答には「家電量販店」が多く含まれていたと考えられる。

今冬購入予定の商品ベスト5

	全体	20代	30代	40代	50代以上
1位	婦人服	婦人服	婦人服	婦人服	婦人服
2位	紳士服	紳士服	紳士服	子供服	紳士服
3位	子供服	スマートフォン	子供服	紳士服	暖房機器
4位	スマートフォン	ハンドバッグ・靴	スマートフォン	暖房機器	スマートフォン
5位	ハンドバッグ・靴	貴金属・アクセサリー	家具・インテリア	スマートフォン	ハンドバッグ・靴

購入予定の店舗（複数回答）



3 おけいご事、塾・サークル

参加したいおけいご事は「ゴルフ」が1位

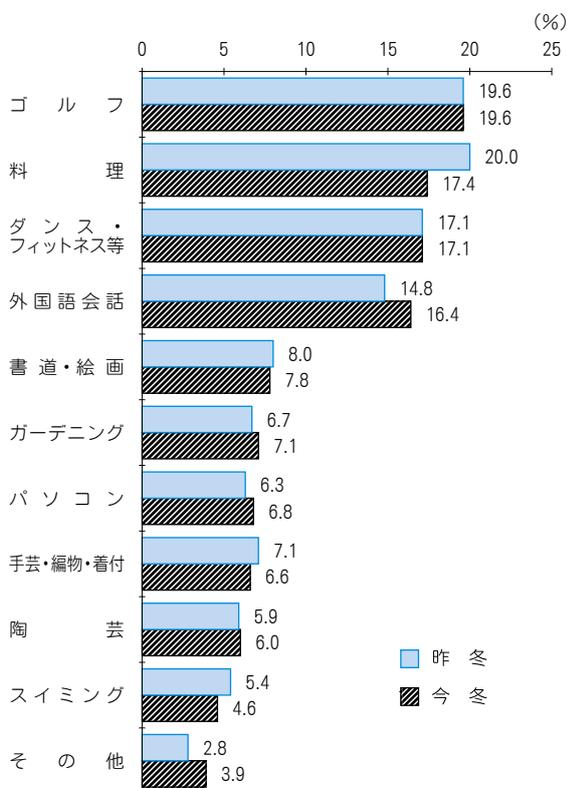
参加したいおけいご事や塾・サークル（複数回答）は、「ゴルフ」が1位となり、以下、「料理」、「ダンス・フィットネス等」、「外国語会話」、「書道・絵画」、「ガーデニング」の順となった。昨冬と比較すると、昨年1位の「料理」と2位の「ゴルフ」の順位が入れ替わったほか、6位であった「手芸・編物・着付」が8位に後退し、「ガーデニング」、「パソコン」がそれぞれ順位を1つ上げた。

昨冬と比べて人気上昇したのは、「外国語会話」、「パソコン」、「ガーデニング」、「陶芸」

であった。一方、低下したのは、「料理」、「スイミング」、「手芸・編物・着付」、「書道・絵画」であった。なお、「ゴルフ」、「ダンス・フィットネス等」は昨冬と同率であった。

年代別に人気の高い項目をみると、20代では、「ゴルフ」、「料理」、30代では、「ゴルフ」、「料理」・「ダンス・フィットネス等」・「外国語会話」（同順位）、40代では、「ダンス・フィットネス等」、「外国語会話」、50代以上では「ダンス・フィットネス等」、「ゴルフ」となっている。

やってみたいおけいご事、塾・サークル
（複数回答）



やってみたいおけいご事、塾・サークル
（複数回答）

	全体	20代	30代	40代	50代以上
ゴルフ	19.6	30.5	20.1	13.8	14.8
料理	17.4	28.1	15.7	14.2	12.5
ダンス・フィットネス等	17.1	18.9	15.7	19.4	15.1
外国語会話	16.4	22.9	15.7	18.5	10.2
書道・絵画	7.8	6.8	8.3	6.5	9.2
ガーデニング	7.1	3.2	6.3	6.0	11.8
パソコン	6.8	5.6	6.3	6.0	8.9
手芸・編物・着付	6.6	5.6	5.1	8.2	7.5
陶芸	6.0	1.6	2.4	6.5	12.1
スイミング	4.6	3.2	5.1	3.9	5.9
その他	3.9	2.8	3.1	4.3	5.2

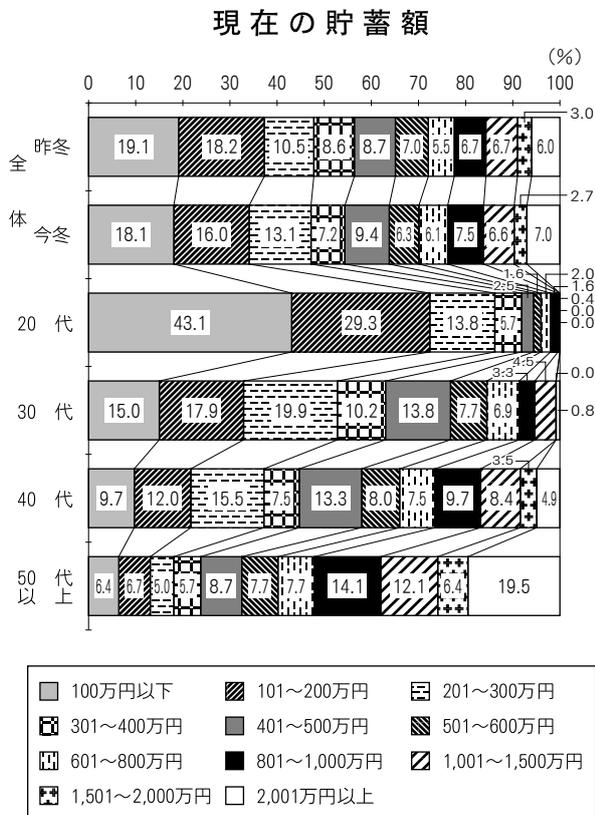
4 貯蓄

平均貯蓄額は618万円

現在の貯蓄額の分布をみると、「100万円以下」が最も多く、以下、「101万円～200万円」、「201万円～300万円」、「401万円～500万円」の順となった。

また、平均貯蓄額は618万円で、昨冬（583万円）に比べて35万円増加した。

年代別の平均貯蓄額をみると、20代が173万円（昨冬比△21万円）、30代が383万円（同△17万円）、40代が645万円（同△34万円）、50代以上が1,156万円（同+175万円）となっている。

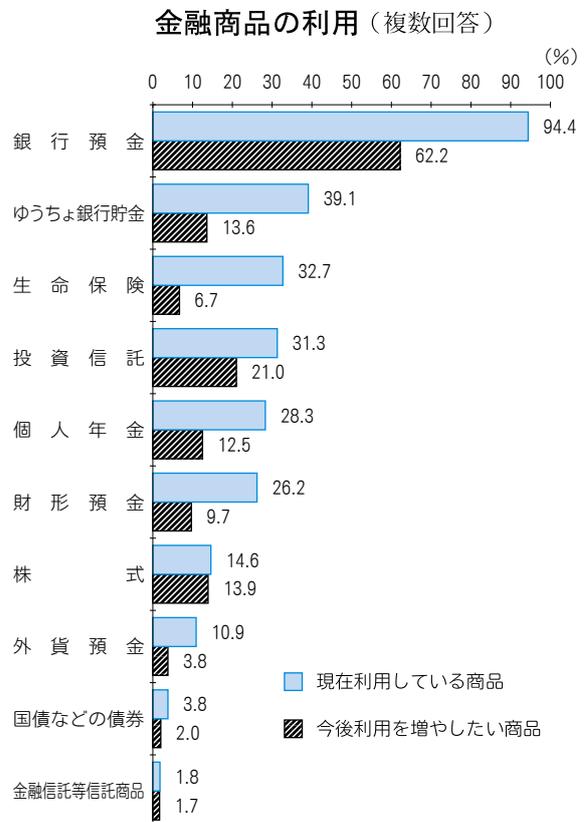


利用金融商品の最多は「銀行預金」

利用している金融商品（複数回答）は、「銀行預金」が94.4%と最も多く、以下、「ゆうちょ銀行貯金」、「生命保険」、「投資信託」、「個人年金」、「財形預金」の順となった。

昨冬と比較すると、「個人年金」、「生命保険」、「株式」、「投資信託」などの利用率が上昇した一方、「ゆうちょ銀行貯金」などは低下した。

年代別に利用率をみると、「銀行預金」はすべての年代で90%超となり、いずれも高い比率となっている。「株式」、「生命保険」は年代が高くなるに連れて利用率が上昇している一方、「財形預金」は年代が低いほど利用率が高くなっている。また、昨冬と比較すると、「個人年金」、「株式」、「金銭信託等信託商品」はすべての年代で利用率が上昇している。



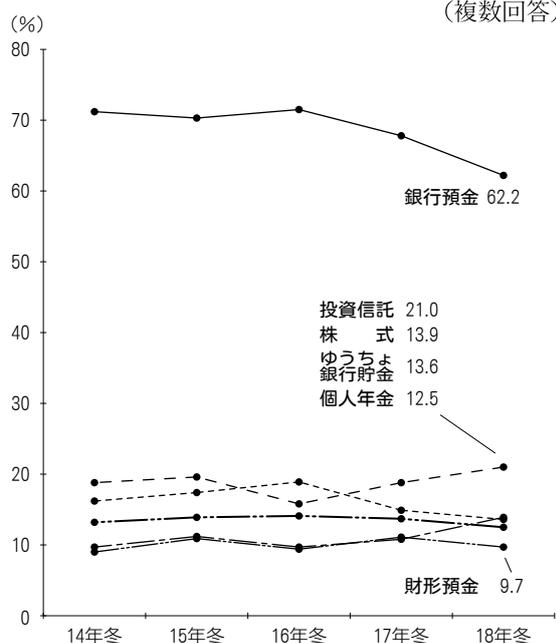
増やしたい金融商品は「株式」が上昇

今後増やしたい金融商品（複数回答）は、1位が「銀行預金」で、以下、「投資信託」、「株式」、「ゆうちょ銀行貯金」と続いた。

昨冬と比較すると、「株式」（昨冬比+3.1ポイント）、「生命保険」（同+2.6ポイント）、「投資信託」（同+2.2ポイント）などで比率が上昇した。一方、「銀行預金」（同△5.6ポイント）、「外貨預金」（同△2.0ポイント）、「財形預金」（同△1.4ポイント）などで比率が低下した。

年代別にみると、各年代とも1位が「銀行預金」、2位が「投資信託」（50代以上では「ゆうちょ銀行貯金」も同率2位）となっている。また、昨冬と比較すると、「株式」、「生命保険」はすべての年代で上昇した。

今後利用を増やしたい金融商品の推移
(複数回答)



収益性を重視する傾向

貯蓄をする際、重視する点（3項目選択）は、「元金の保証があり安心」が最多で、以下、「利回りが良い」、「預け入れ引き出しが自由」、「値上がりが期待できる」、「利用金融機関が自宅から近い」の順となった。

各項目の比率を昨冬と比較すると、「値上がりが期待できる」が24.0%から27.3%と3.3ポイント上昇した。利用金融商品・増やしたい金融商品でも「株式」、「投資信託」の比率が上昇しており、堅調な株式相場を背景に収益性を重視する傾向が窺われた。一方、「元金の保証があり安心」（昨冬比△2.7ポイント）、「利用金融機関が自宅から近い」（同△2.4ポイント）など、安全性、利便性に関する項目が低下した。

上位項目を年代別にみると、「預け入れ引き出しが自由」は年代が高くなるに連れて比率が低下している。昨冬と比較すると、20代では「預け入れ引き出しが自由」の上昇が、30代以上では「値上がりが期待できる」の上昇が目立っている。

貯蓄する際重視する点（3項目まで選択）
(%)

	全体	20代	30代	40代	50代以上	昨冬順位
元金の保証があり安心	61.5	55.0	60.6	59.9	68.9	1
利回りが良い	46.7	45.0	48.0	43.1	49.8	2
預け入れ引き出しが自由	42.7	45.4	42.5	42.2	41.0	3
値上がりが期待できる	27.3	28.9	29.9	25.0	25.6	4
利用金融機関が自宅から近い	18.1	17.3	16.9	15.5	21.6	5
利用金融機関のサービスが良い	14.1	13.7	13.0	13.8	15.7	6
勤務先が利用金融機関と取引している	6.3	7.2	4.7	5.6	7.5	7
利用金融機関に友人、知人がいる	5.5	6.0	3.9	6.5	5.6	9
利用金融機関が勤務先から近い	5.0	6.8	4.7	5.2	3.6	8
利用金融機関が集金にきてくれる	2.6	0.0	2.4	3.9	3.9	10
その他	1.0	1.2	0.8	0.4	1.3	-

5 ローン等の利用

平均借入額は1,150万円

ローン等の利用状況を見ると、利用者は27.9%で、平均借入額は1,150万円となった。

利用目的（複数回答）は、「土地・住宅の購入」が最も多く、以下、「自動車・家電品の購入」、「教育資金」と続いた。

昨冬と比較すると、利用者の比率は0.9ポイント上昇したが、平均借入額は2万円減少した。また、利用目的では、「自動車・家電品の購入」、「旅行・レジャー」、「教育資金以外の生活資金」の比率が上昇した反面、「土地・住宅の購入」、「その他」、「教育資金」、「財テク資金」は低下した。

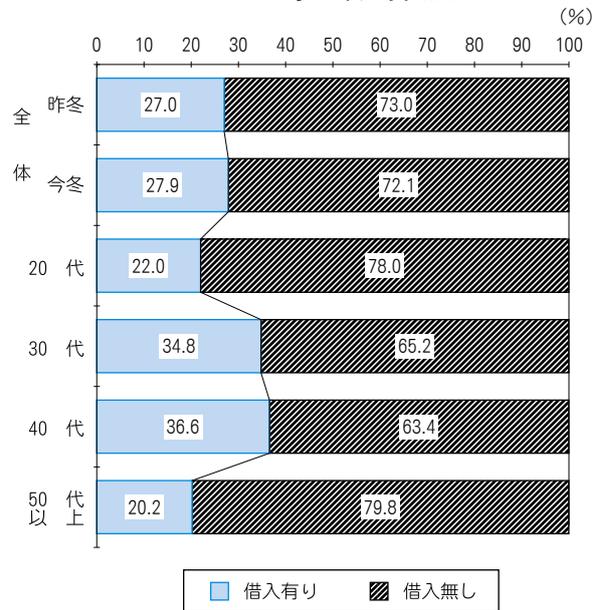
一方、借入先（複数回答）は、「銀行」が最も多く、以下、「月賦・クレジット会社」、「銀行以外の金融機関」の順となった。昨冬と比較すると、「月賦・クレジット会社」の比率が上昇した一方、「勤務先」、「その他」、「政府系金融機関」、「銀行」は低下した。

これらを年代別にみると、ローン利用者はマイホーム需要が高まる40代が最も多く、以下、30代、20代、50代以上の順となっており、平均借入額は、20代161万円、30代1,630万円、40代1,458万円、50代以上881万円となった。

また、利用目的は、20代で「自動車・家電品の購入」、30代以上で「土地・住宅の購入」がそれぞれ最多となっている。

なお、借入先は、すべての年代で「銀行」が1位となっているが、2位は20代、30代、50代以上で「月賦・クレジット会社」、40代で「銀行以外の金融機関」となっている。

ローン等の利用状況



ローン等の借入先・利用目的

(複数回答)

(%)

		全体	20代	30代	40代	50代以上
利 用 目 的	土地・住宅の購入	61.8	5.6	66.3	80.7	80.0
	自動車・家電品の購入	33.2	66.7	31.4	27.7	13.3
	教育資金	10.6	18.5	3.5	9.6	15.0
	旅行・レジャー	4.2	9.3	2.3	3.6	3.3
	教育資金以外の生活資金	3.2	3.7	1.2	1.2	8.3
	財テク資金	0.4	0.0	0.0	0.0	1.7
	その他	2.5	5.6	1.2	0.0	5.0
借 入 先	銀行	65.4	35.2	66.3	74.7	78.3
	月賦・クレジット会社	15.5	27.8	12.8	9.6	16.7
	銀行以外の金融機関	12.0	20.4	11.6	12.0	5.0
	住宅金融支援機構等 政府系金融機関	6.7	1.9	4.7	9.6	10.0
	勤務先	0.4	0.0	0.0	0.0	1.7
	その他	4.6	16.7	3.5	0.0	1.7

6 冬季ボーナス

手取り額予想は減額が増額を上回る

昨冬と比べた今冬のボーナス（手取り額）の予想は、「増えそう」が13.3%、「減りそう」が27.9%となり、引き続き「減りそう」が「増えそう」を上回った。

両比率の差（「増えそう」－「減りそう」）は、△14.6と昨冬の△10.3から4.3ポイント悪化した。これまで回復基調にあった県内景気が一時的な足踏み局面を迎えているなかで、勤労者は今冬のボーナス支給について慎重な見方をしている様子が窺われる。なお、「増えそう」の比率が昨冬と比べて4.8ポイント上昇し、1995年以来の高い水準となった一方、「減りそう」も昨冬と比べて9.1ポイント上昇しており、ボーナスの支給見通しは二極化の傾向が強まっている。

年代別にみると、すべての年代で「減りそう」の比率が「増えそう」の比率を上回った。昨冬との比較では、すべての年代で「減りそう」の回答比率が上昇しており、特に、20代、50代以上で「減りそう」の回答比率が各々12.2、11.5ポイントの大幅な上昇となった。

平均手取り予想額は41万8千円

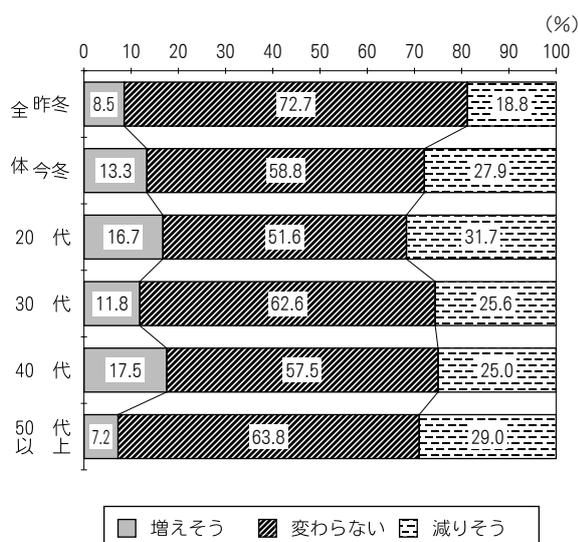
手取り予想額は、「21～30万円」が最も多く、以下、「1～20万円」、「31～40万円」、「41～50万円」の順となった。

昨冬と比較すると、「21～30万円」、「71～100万円」、「101万円以上」の比率が上昇、「1～20万円」、「31～40万円」、「41～50万円」の比率が低下した。

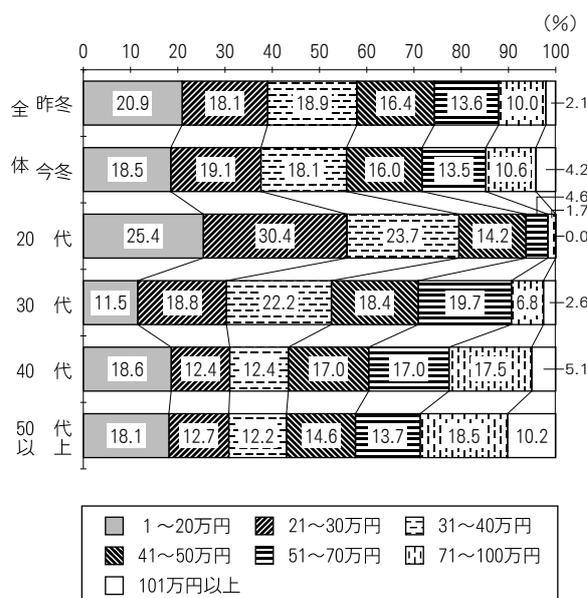
この結果、平均手取り予想額は41万8千円と、昨冬（39万5千円）に比べて2万3千円の増加となった。

年代別にみると、20代が29万1千円（昨冬27万7千円）、30代が42万4千円（同41万3千円）、40代が47万7千円（同46万1千円）、50代以上が51万円（同44万5千円）で、昨冬比では20代、30代、40代、50代以上が各々1万4千円、1万1千円、1万6千円、6万5千円の増加となった。

冬季ボーナス増減予想



ボーナス手取り予想額



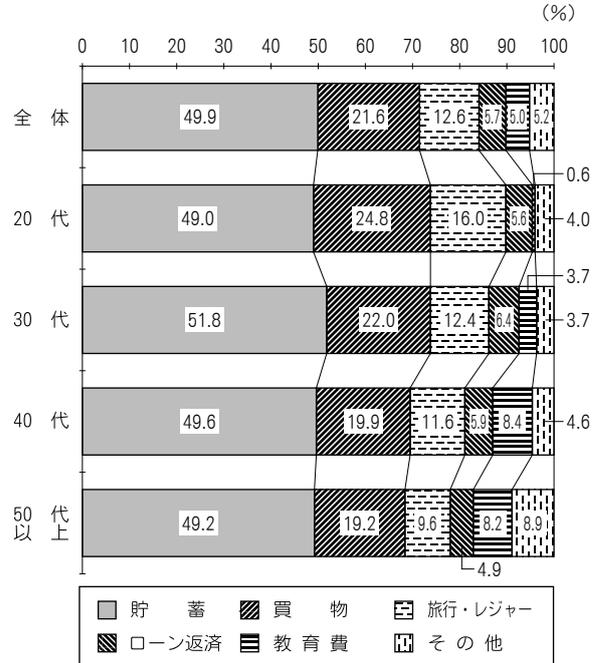
「旅行・レジャー」の比率が上昇

ボーナスの使いみちは、「貯蓄」の比率が最も高く、次いで「買物」、「旅行・レジャー」、「ローン返済」となった。

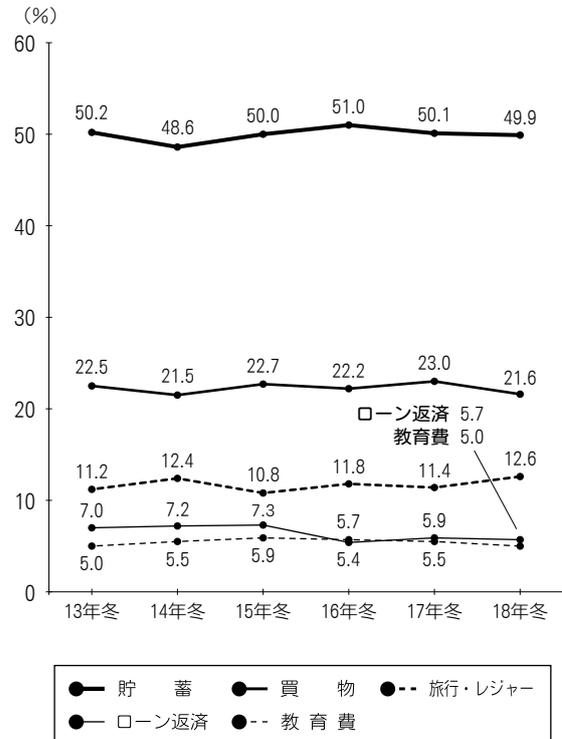
昨冬と比較すると、「旅行・レジャー」の比率が上昇した一方で、「買物」、「教育費」、「貯蓄」、「ローン返済」の比率は低下した。なお、「貯蓄」への配分割合はやや低下したものの、依然として5割を占めている。

年代別にみると、各年代とも1位、2位、3位は「貯蓄」、「買物」、「旅行・レジャー」の順となった。昨冬と比較すると、20代で「ローン返済」、「旅行・レジャー」の上昇、「貯蓄」の低下、30代で「ローン返済」の上昇、「買物」の低下、40代で「貯蓄」、「旅行・レジャー」の上昇、「ローン返済」、「教育費」の低下、50歳以上で「貯蓄」の上昇、「ローン返済」、「買物」の低下が各々目立っている。

ボーナスの使いみち



ボーナスの使いみちの推移



7 お歳暮

贈る予定のある人の割合が低下

今冬、お歳暮を贈る予定のある人は50.9%で、昨冬（56.3%）と比べて5.4ポイント低下した。

贈る件数は「3～5件」が最も多く、以下、「2件以下」、「6～9件」、「件数未定」、「10件以上」の順となった。昨冬と比較して「2件以下」などが低下した一方、「6～9件」は上昇し、平均贈答件数は3.8件（昨冬3.8件）と、昨冬と同水準になった。

年代別にみると、贈る予定のある人の比率は20代が18.5%、30代が43.9%、40代が60.4%、50代以上が76.0%となった。昨冬と比較してすべての年代で低下し、特に20代の低下幅が比較的大きかった。

また、贈る件数は、20代、30代では「2件以下」が、40代、50代以上では「3～5件」がそれぞれ最も多くなっており、年代別の平均贈答件数は、20代が2.7件、30代が3.1件、40代が3.7件、50代以上が4.5件となっている。

平均単価は4,107円、平均予算は15,626円

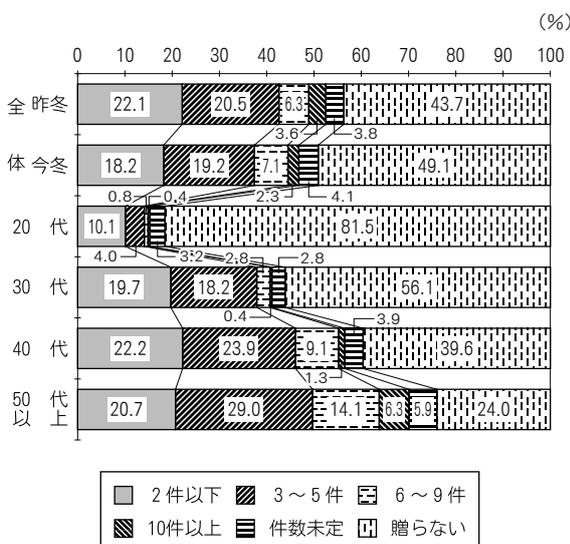
1件あたりの単価は、「5,000円程度」が45.2%と最も多く、次いで「3,000円程度」が44.0%となっており、この両者で9割弱を占めた。

昨冬と比較すると、「2,000円程度」、「10,000円程度」などの比率が低下した一方、「3,000円程度」、「5,000円程度」などの比率は上昇しており、平均単価は4,107円と、昨冬（4,071円）と比べて36円上昇した。

このように、平均贈答件数が昨冬と同水準になったものの、平均単価は上昇したことから、平均予算総額は15,626円と昨冬（15,489円）に比べて137円増加した。

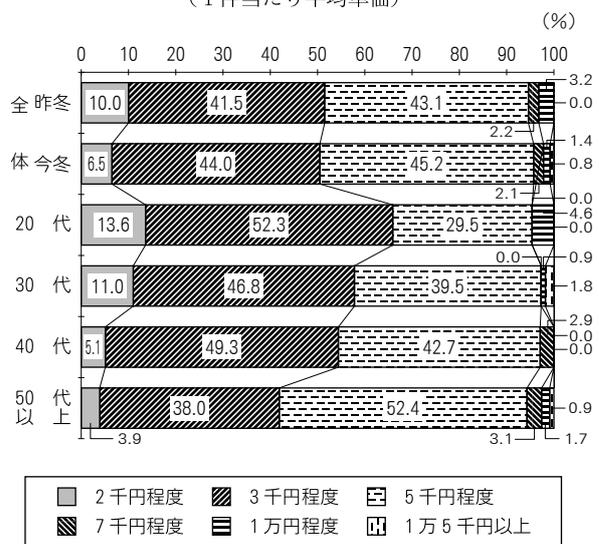
なお、年代別の平均単価は、20代が3,766円、30代が3,954円、40代が3,924円、50代以上が4,360円となっており、また、平均予算総額は、各々10,182円、12,273円、14,537円、19,643円となった。

お歳暮を贈る件数



お歳暮の相場

(1件あたり平均単価)



定番商品の支持率が上昇

お歳暮に贈りたい商品（5品目まで選択）は、「ビール」（含むビール券、以下同じ）が最多で、以下、「ハム」、「お菓子」、「食用油」、「調味料」の順となった。昨冬と比較すると上位4品目は同順位となっているものの、5位から20位までのうち13品目で順位が変動した。

支持率をみると、定番商品の「お菓子」（昨冬比+5.2ポイント）、「調味料」（同+4.4ポイント）など、14品目が上昇した。一方、「お茶・コーヒー」（同△4.2ポイント）、「煮貝」（同△3.5ポイント）など、6品目が低下した。

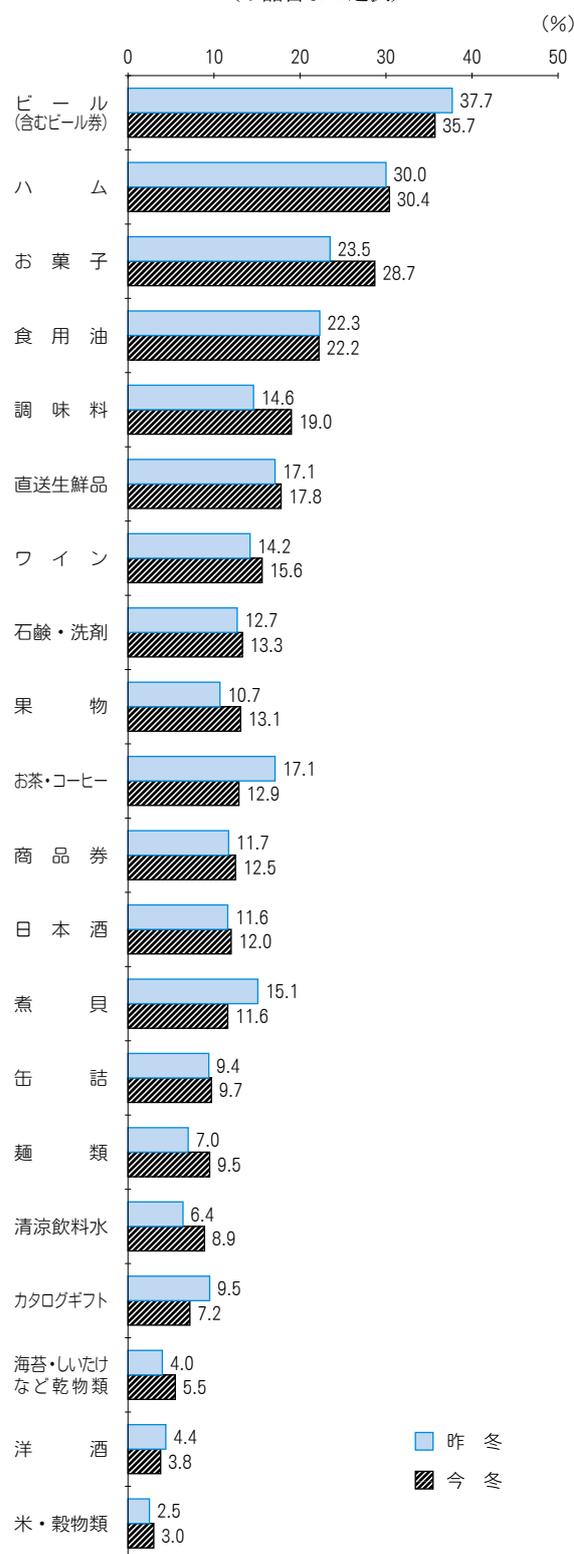
年代別にみると、20代、30代、40代で「ビール」、50代以上で「ハム」が1位となっている。支持率を昨冬と比べると、20代で「ビール」の上昇および「お茶・コーヒー」、「カタログギフト」の低下、30代で「お菓子」、「日本酒」の上昇、50代以上で「ビール」の低下が目立っている。

お歳暮に贈りたい商品ベスト5

順位	20代	30代	40代	50代以上
1	ビール (含むビール券)	ビール (含むビール券)	ビール (含むビール券)	ハム
2	お菓子	お菓子	お菓子、 ハム (同順位)	ビール (含むビール券)
3	ハム	ハム		お菓子
4	商品券、 日本酒 (同順位)	食用油	食用油	食用油、 直送生鮮品 (同順位)
5		調味料	直送生鮮品	

お歳暮に贈りたいもの

（5品目まで選択）



8 冬休み、年末・年始の過ごし方

宿泊旅行の回答割合が上昇

冬休み、年末・年始の過ごし方（複数回答）は、「日帰り旅行」が30.5%を占め最多となり、以下、「国内宿泊旅行」、「帰省」、「スポーツ・健康づくり」、「海外旅行」の順となった。なお、「特に予定なし」は、38.0%となっている。

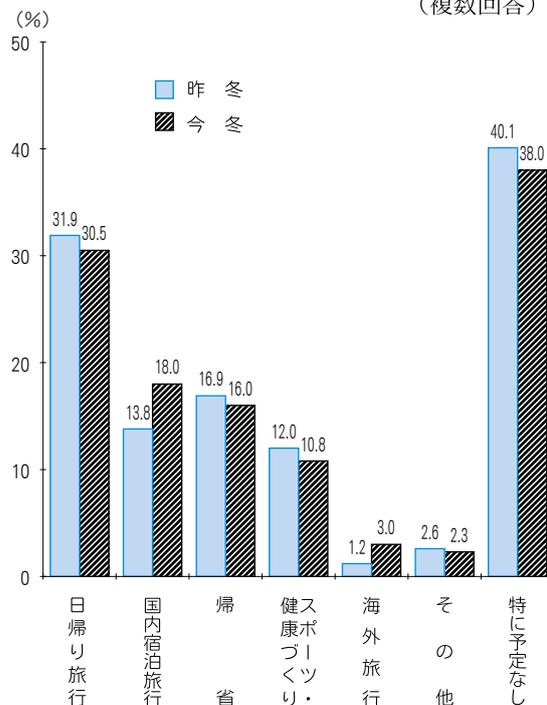
昨冬と比較すると、「国内宿泊旅行」（昨冬比+4.2ポイント）、「海外旅行」（同+1.8ポイント）と、宿泊旅行の回答割合が上昇した。一方、「日帰り旅行」（同△1.4ポイント）、「スポーツ・健康づくり」（同△1.2ポイント）などは低下した。

年代別にみると、20代では「日帰り旅行」、30代以上では「特に予定なし」が最多となっている。昨冬と比較すると、「国内宿泊旅行」、「海外旅行」ともにすべての年代で上昇している一方、20代で「スポーツ・健康づくり」の低下、30代で「日帰り旅行」の低下、40代以上で「特に予定なし」の低下が目立っている。

「国内宿泊旅行」の宿泊日数をみると、「1泊」が56.2%を占め、以下、「2泊」（38.5%）、

冬休み、年末・年始の過ごし方

（複数回答）



「3泊」（4.6%）、「4泊以上」（0.8%）の順となった。平均宿泊日数は1.5泊で、昨冬（1.5泊）と同水準だった。

冬休み、年末・年始の過ごし方（複数回答）

(%)

	日帰り旅行	国内宿泊旅行	帰省	スポーツ・健康づくり	海外旅行	その他	特に予定なし
20代	41.8	21.7	12.4	12.9	2.4	1.2	33.7
30代	31.1	17.3	23.2	11.8	2.4	0.8	33.1
40代	30.2	18.5	18.5	7.8	1.7	4.3	35.8
50代以上	21.0	15.1	10.8	10.5	4.9	3.0	47.2
全体	30.5	18.0	16.0	10.8	3.0	2.3	38.0

山梨中銀 自分にピッタリのコースではじめよう!

大好評につき
第3弾

資産づくり応援!キャンペーン

期間 2018年12月1日(土)~2019年3月31日(日)

対象 対象商品をご契約(預入)いただいた個人のお客さま
(新規または増額のご契約(預入)を対象とさせていただきます)

対象商品のご契約でお得な特典

コツコツ!
応援コース

まとめて!
応援コース

WEBでラクラク!
応援コース

インターネット投信・インターネットバンキング限定

特典
1 先着4,000名様にいずれかおひとつプレゼント!

曲がって便利
もこもこモップ

幅広のモップ部分が
曲げられるから
色々なシーンで活躍



ふわふわ
ラグジブランケット

生地が心地良い
ひざ掛けや
腰巻きなどに



●キャンペーン期間中、景品はお一人さまおひとつとさせていただきます。
(商品・色は品切れによりご希望にそえない場合がございます)

特典
1 手数料
キャッシュバック

●ノーロード商品は特典1の対象外となり、特典2のみ対象となります。
●キャンペーン期間中にご解約された場合は対象外になります。

さらに

特典
2 話題の人気商品が
当たるダブルチャンス! 合計11名様に抽選でプレゼント!

1等
ダイソン
コードレスクリーナー
V7 Fluffy
(SV11FF2)



1名様

2等
ブルーノ
コンパクト
ホットプレート
(赤)(BOE021-RD)



5名様

3等
デロンギ
電気ケトル
(ゴールド(スタイル
コッパー))
(KBH1200J-CP)



5名様

●対象商品ごとにキャンペーン期間中の累計取引金額に応じて抽選権をお付けいたします。応募のお手続きは不要です。●キャンペーン終了後、当行所定の方法により、厳正な抽選を行います。キャンペーン期間中に解約された場合、抽選権は無効となります。●色をお選びいただくことはできませんので、ご了承ください。●当選者の発表は景品の発送をもって代えさせていただきます。(2019年6月中発送予定)●転居先不明などで連絡が取れない場合は、当選を無効とさせていただきます。

さらに!

対象商品をご契約いただいたお客さまで
NISA・つみたてNISA口座を開設された方には

500円キャッシュバック! (2019年6月中
入金予定)

株式会社山梨中央銀行 / 登録金融機関 関東財務局長(登金)第41号 / 加入協会 日本証券業協会

ホームページへアクセス

山梨中銀

検索



皆さまに役立つ情報を
いち早くお届けします。

LINE@

x

@yamanashibank



店頭またはATMコーナーに、
くわしいキャンペーン内容を記載した
リーフレットをご用意しております。

くわしくは山梨中央銀行の窓口 または フリーダイヤルへどうぞ

ふ れ あ い ハ ロ ー に

0120-201862

照会コード
9

(受付時間)月曜日~金曜日 9:00~17:00(ただし、祝日・12/31~1/3は除きます。)

山梨中央銀行

https://www.yamanashibank.co.jp/

(2018年12月1日現在)